（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐはぐ			
○保護者評価実施期間	R　6年　11月　　1日	～	R　6年　12月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	9
○従業者評価実施期間	R　6年　11月　　1日	～	R　6年　12月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	R　7年　2月　　27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員のチームワークがよく、常に情報共有できており、その日の支援に活用できている。情報共有することで、ＰＤＣＡサイクルの回転が早い。	ミーティングだけではなく、リアルタイムに情報が共有できる雰囲気や記入できる用紙がある。	外部の研修、取り組みの情報収集を行い、取り入れることでステップアップしていきたい。
2	室内だけでなく、より実践（社会）に近い環境として、野外活動を積極的に取り入れている。個別を重視し、苦手なことはスモールステップで楽しく取り組める工夫をしている。	イベントや療育プログラムなどを、インターネットや同業者の人との繋がりによって情報収集ができ、その子にあった療育で苦手なことが楽しくできるよう工夫している。	常に新しい物を取り入れる姿勢が職員にあり、子どもたちの気持ちを把握しながら、「やってみたい」の気持ちを大切にして、ご家族と支援内容を共有する事で子どもたちの自信にもつなげたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングとしての家族支援プログラムの研修会の実施が行えていません。	個別の面談にて、有益な声かけや促し方法の提案等行っているため、研修会などの実施ができていない状態です。	まずは、ご家庭での困りごとの多い内容把握を、茶話会などを通して情報収集行い、そこからの研修につなげて、職員も一緒にステップアップしていければと思っています。
2	必要だと思われる児童には、学校との情報交換の会議などを行っておりますが、していない児童もいる状態。家庭、学校、放課後等デイサービスが同じ方向・課題の共有が必要だと思われる。	保護者様へ来年度から学校との情報交換の説明・理解をいただいているので、来年度から学校関係者様・保護者様とアポイントをとり、取り組んで行きたい。	情報交換への参加日には、事業所での支援に支障が出ないようシフトを組み、保護者様も無理のない範囲で参加できるようにする。
3			